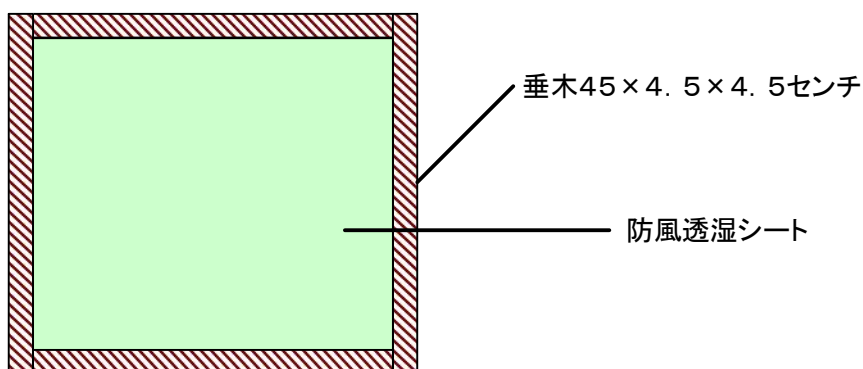


SL-100 木の収縮に対するフォームの追従試験

目的 施工後、木の収縮による木とPUフォーム間の剥離不良の発生について検証する。

試験方法

- 1) 下図のように垂木を組んだ枠にSL-100 を吹付けサンプルを作成した。
- 2) サイクル試験を以下の条件にて 3 サイクル行った。
- 3) 放置後の剥離の有無の確認、垂木の寸法変化率を測定した。



サイクル試験

70°C×48hr→常温(25°C,50%Rh×24hr)→70°C,95%Rh×72hr→常温(25°C,50%Rh×24hr)

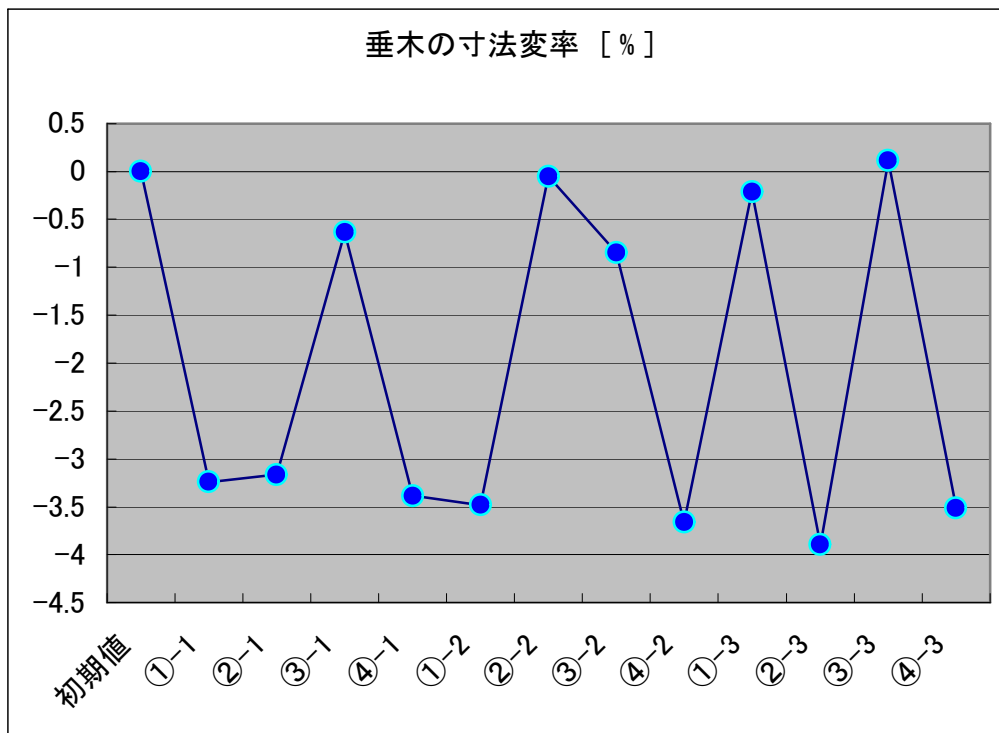
表 1 1 サイクルの条件

	項目	時間	温度	湿度
		(hr)	(°C)	(%Rh)
①	加温	48	70	-
②	常温	24	25	50
③	加温,加湿	72	70	95
④	常温	24	25	50

結果

	1 サイクル目			
	①	②	③	④
垂木の寸法変化率	-3.24	-3.16	-0.63	-3.38
剥離の有無	無し	無し	無し	無し
	2 サイクル目			
垂木の寸法変化率	-3.48	-0.05	-0.85	-3.66
剥離の有無	無し	無し	無し	無し
	3 サイクル目			
垂木の寸法変化率	-0.21	-3.90	0.11	-3.51
剥離の有無	無し	無し	無し	無し

1) 寸法変化率: 初期値からの変化率



- ・フォームの剥離は確認されなかった。
- ・今回の試験では、垂木は放水時に寸法が大きく変化、収縮した。このときの最大値は 3.9%であった。

考察

- ・ウレタンの剥離は確認されなかったことより施工後のフォームライト SL のフォームは問題なく木の収縮に対して追従していると考えられる。

BASF INOAC ポリウレタン株式会社